

平成25年度 道路建設技術講演会



川端支部長



藤田仁委員長



上坂克巳道路部長



藤井聡教授

平成25年度 道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催、国土交通省中部地方整備局後援、(公社)日本道路協会中部ブロック・(一社)中部地域づくり協会・(一社)日本建設業連合会中部支部・(一社)名古屋建設業協会・中部緊急防災協会の共催をいただき11月12日に名古屋東文化小劇場で開催しました。公演は(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)に認定され、会場には会員の皆様、官公庁の方々を中心に271名にご参加いただきました。

開会にあたり、川端支部長から「アベノミクスの3本の矢の政策の下で、わが国経済だけでなく建設産業も転換期を迎えている。専門工事業者の待遇改善と入職促進を図る労務単価見直し諸施策、また、災害からの本格復興、急速に老朽化が進むインフラの維持・更新などへの対応に迫られているのが現状だ。こうした重要なテーマについて、新たな情報の提供を通じて技能のレベルアップ、技術の向上につなげてほしい」と述べられた開会の挨拶につき講演会に入りました。

スリップフォーム工法協会舗装委員会 藤田仁委員長は、「道路の長寿命化におけるスリップフォーム工法の取組み」について解説し、「品質のよい舗装用コンクリートと施工者の確かな技術があれば、すばらしい舗装ができるが、どちらか一方でも欠如すれば、コンクリート舗装は衰退する。」と話されました。

国土交通省中部地方整備局 上坂克巳道路部長は

「道路をめぐる最近の情勢」をテーマにネットワーク整備、事前防災・減災対策、長寿命化の取り組みなどを紹介されました。

京都大学大学院工学研究科 藤井聡教授は「ナショナル・レジリエンス(国土強靱化)」のテーマでさまざまな危機に直面している日本の現状を解決するプロジェクトとして、国土強靱化の必要性を講演されました。

参加者は熱心に講演に聞き入り、実りある講演会になりました。